

■日時 令和元年8月17日(土) ■天候 晴れ

天理高校 対 東京都立八王子拓真高校

■球場 明治神宮野球場 第1試合 回戦 決勝 ■試合時間 2時間13分 ■備考

■審判 球審:竹本 塁審:大和 仲田 鈴木

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
天理	東近畿1・奈良	2	0	0	0	1	0	3	0	2	8	14	2
八王子拓真	東京1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	5	2

天理		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	遊		片山 幸輔	5	1	3	0	中安	一ゴ			投安		遊安		遊ゴ
2	三		清水 勇人	3	2	2	0	左安	死球			二飛		投犠		二安
3	二		片山 優馬	2	2	1	1	死球	遊ゴ			投犠		中安		投犠
4	中		窪田 正喜	4	2	2	2	三邪		投ゴ		左安		中安		四球
5	左		野口 翔大	4	0	1	2	一ゴ		四球		左飛		二失		中3
6	一		紺谷 雄大	4	0	2	2	左安		三邪			右安	三ゴ		四球
7	右		片山 陽平	5	0	1	0	三振			遊飛		三振		遊安	遊飛
8	捕		木下 慶充	4	0	0	0		左飛		一飛		中飛		遊ゴ	
9	投		堀部 陸	4	1	2	0		中安		左邪			左安		投飛
合計				35	8	14	7	残塁:7 併殺:1								
備考																

■バッテリー

投手
堀部 陸

捕手
木下 慶充

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
堀部 陸	9	34	5	7	4	0

八王子拓真		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	左		平山 奏斗	4	0	0	0	三振		一邪			二直			三振
2	投		緒方 周守	4	1	0	0	遊ゴ			三振			二ゴ		遊ゴ
3	遊		内藤 龍之介	4	1	2	0	一ゴ			右安			二飛		右2
4	捕		輿水 来輝夢	3	1	1	2		投ゴ		遊ゴ			四球		中安
5	一		中村 秋介	3	0	0	0		三ゴ			遊ゴ		三振		四球
6	右		鎌田 拓斗	4	0	2	1		左安			左飛		二飛		中安
7	三		岩瀧 晃史	4	0	0	0		投飛			三振		三振		三振
8	中		市川 昭次郎	2	0	0	0			四球			二ゴ		一飛	
9	二		小野 充輝	2	0	0	0			二飛			四球			遊失
合計				30	3	5	3	残塁:4 併殺:1								
備考																

■バッテリー

投手
緒方 周守

捕手
輿水 来輝夢

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
緒方 周守	9	43	14	2	5	7

■戦評

令和初代王者を決める試合は、13年連続優勝を目指す奈良県代表天理高校と打倒天理を目標に勝ち上がってきた東京都代表八王子拓真高校の戦いとなった。両校共に強力な打撃で相手チームをねじ伏せ勝ち上がってきただけに激しい打撃戦が期待された。試合は、天理堀部、拓真緒方の両校主戦投手の先発で開始された。初回、先攻天理は、緒方の立ち上がりで攻め1番片山が中安打、2番清水が左安打、3番片山が死球で満塁とし2死後6番紺谷の左適時打で2点を先制した。その裏、天理堀部は拓真の打線を三者で打ち取り無難な立ち上がりを見た。2点を先制された拓真緒方はその後も不安定な投球で四死球で走者を出すも内外野の好守もあり後続を討ち取り、天理堀部も堅守の守備陣を後ろに打たせて取る投球を見せ無得点に抑えていた。5回表、先頭2番清水が内野安打で出塁すると4番窪田の犠打で得点圏に進め、5番野口の左適時打で追加点を上げ、点差を3点と拓真を突き放した。7回、先頭9番堀部の左前安打、1番片山が出塁すると2番清水の犠打で得点圏に進め、3番片山、4番窪田の連続適時打で2点、さらに内野の失策により1点を追加し、6点差に広げ、さらに、9回にも2点を追加した。それまで2安打に抑え垂れていた拓真打線は、最終回、拓真の攻撃も2死と後がなくなったが、2番緒方が失策で出塁すると3番内藤が右翼線に二塁打し得点圏に出ると4番輿水、6番鎌田の適時打で3点を返した。堅実な攻撃で得点を積み重ねた天理打線と主戦堀部が強力拓真打線を5安打3失点に抑え、天理高校が令和初代王者となるとともに13年連続優勝を手にした。